

基本 理念

歴史／文化／自然が息づく、 暮らす・訪れる魅力のあるまち

板橋区は、都市化が進んでいる東京23区にありながら、宿場町として栄えた街道文化の歴史と、古くから地元住民に愛されてきた商店街などの生活文化、河川・公園をはじめとする自然環境が残されており、先人から受け継いできた伝統が今でも息づいています。

板橋区の観光は、区民に親しまれている歴史／文化／自然の地域資源をさらに磨き上げ、板橋区に対する区民の「愛着」と「誇り」を高めるものであり、区民による体験・交流・回遊を来訪者にも提供することによって、暮らす・訪れる魅力を高めるものです。

【ビジョンの視点】

歴史／文化／自然

史跡公園、植村冒険館、こども動物園など、加賀を中心とする歴史・文化・自然を結びつけた地域資源の創出と活用

河川敷を中心とした河川空間とスポーツや音楽イベントを組み合わせるなど、複合的視点を用いた体験コンテンツの創造とにぎわいの創出

産業ミュージアム、史跡公園、あずさわスポーツフィールド、高島平プロムナードなど文化・産業・スポーツ・緑・イベントをつなぐ、独自の新しい交流フィールドの創出

まちづくり

板橋駅周辺、大山駅周辺、上板橋駅周辺、高島平地区など、まちづくり事業を通じた地域資源の創出

魅力発信

美しく臨場感ある写真とストーリー性を持たせた文章による、人を惹きつける板橋の魅力発信

人材

来訪者向けのガイドツールの活用や専門的な知識を持ったボランティアガイドの育成など、新たな担い手による魅力発信の強化

地域

東上線・三田線駅前商店街の商業文化と川越街道・中山道の街道文化を結びつけ、地域コミュニティを活かした地域ブランドの創出



【目標】

1 歴史／文化／自然を磨き上げる

歴史／文化／自然の保全を図りながら、魅力的な体験を提供できるコンテンツを磨き上げる

2 線から面へのまちづくりと連動し、地域共創を推進する

各地域で進められている「まちづくり」の取組に、歴史／文化／自然を楽しむ体験コンテンツや区民と来訪者との交流及び区内回遊の機能を融合させる

3 人を惹きつける板橋の魅力を発信する

区民の地域資源に対する「誇り」をストーリーとして取りまとめ、板橋区の認知度や魅力度を高める情報発信を行う

4 人とデジタルを活用した受入体制の整備により 交流や回遊の促進を図る

板橋区での滞在において、迷わず、便利で快適に楽しめるよう、交通環境、案内機能、滞在環境などの受入基盤を整備する

5 ブランディングをより強化し、持続可能な 地域コミュニティ作りを目指す

地域主導のまちづくりが展開され、持続可能な取組となるように、人材と財源を確保する

目標1 歴史／文化／自然を磨き上げる



取組の方向性

歴史／文化／自然の地域資源を掘り起こし、板橋区に対する区民の「愛着」と「誇り」を高める新たな魅力を体感する機会を創出します。

魅力づくりにあたっては、地域資源の保全を基本に、景観にも配慮した質の高いプログラムを提供します。

2035年目指す姿

これまで活用されてこなかった板橋区の地域資源が掘り起こされ、多様化する消費者ニーズの変化にも応えられる様々な魅力を体感する機会が充実しています。

それによって板橋区の魅力が多くの人に共感され、誇りに思う区民が増え、暮らしたくなる、訪れたくなる板橋ファンが増えています。

1－1 歴史的資源を活かした体験コンテンツの造成

中山道及び川越街道の歴史的資源を活かし、旧宿場町の魅力を高める景観整備を進めるとともに、加賀エリアの史実や偉人等の歴史及び文化に関する資源を活用して体験コンテンツを造成します。

板橋区史跡公園(仮称)やいたばし観光センターを交流・体験の拠点とし、歩きたくなるまちづくりを推進します。

江戸四宿や中山道等をテーマに地域連携を強化し、板橋区の旧宿場町の知名度を高めていきます。



1－2 地域文化資源を活かしたライフスタイルツーリズムの推進

板橋区の地域性が色濃く反映された地域文化を活用したテーマに特化したイベントや、散策ガイドなどの体験型コンテンツを造成します。

主なテーマとして、①絵本のまち板橋、②商店街食べ歩き、③街中華、④健康・医療のまち、⑤地場産業、⑥暗渠巡り、⑦団地ライフ、⑧板橋のいっぴん、など関心度が高いものを活用し、地域を訪れる動機づけにつなげます。



1－3 自然資源「水辺」「緑地」「公園」の保全・活用

「水辺」「緑地」「公園」を区民が交流する賑わいの場として活用し、板橋区の自然資源の魅力を高めます。

「水辺」「緑地」「公園」においてライトアップ、マルシェ、自然観察会、音楽コンサートなどのイベントを開催し、イベント収入の一部を自然環境保全に活用する仕組みなどの導入を目指します。



目標2 線から面へのまちづくりと連動し、 地域共創を推進する



取組の方向性

駅前再開発事業及び「水辺」「緑地」「公園」のまちづくり事業と連携し、区内5エリア（板橋、常盤台、志村、赤塚、高島平）の個性を活かした魅力ある地域づくりを推進します。

まちづくり事業を新たな交流エリアと位置づけ、区民と来訪者の交流及び区内回遊を促します。

2035年目指す姿

駅前再開発事業及び「水辺」「緑地」「公園」のまちづくり事業が完了し、新施設を交流拠点としたまちづくりが展開されています。

地域個性を活かしたまちづくり事業が実施されることで、区内各地域の地域ブランド力が高まっています。

2-1 駅前再開発による新たな交流エリアの創造

駅を中心とした再開発エリアと周辺地域のコミュニティを融合させ、人中心のウォーカブルなまちづくりを推進することにより便利さ、快適さ、安心感を備えた地域個性豊かなライフスタイルを実現する、新たな交流エリアを創造します。

新たな交流エリアでは、イベントの開催、散策ガイドや地域案内、地域交通の乗り換えサービスなどを展開することで、区民同士の交流を活性化させるとともに、区民と来訪者との交流や区内回遊を促進します。

■上板橋駅南口



■板橋駅西口



2-2 まちづくりとの相乗効果による地域のブランド力の向上

区民が地域に「誇り」や「愛着」を持てるよう、地域の宝である歴史・文化・自然資源を掘り起こし、その保全と活用を通じて将来に継承し、次世代に誇れるまちづくりを推進します。

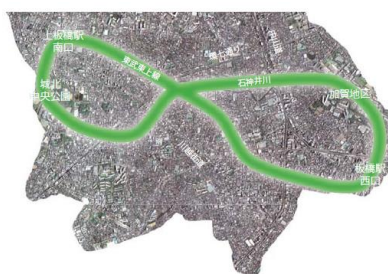
板橋区内の他のエリアとの差別化を図る取組によって、「住み続けたい」と思う区民と「移り住みたい」と思う来訪者を増やし、地域のブランド力を高めていきます。

地域資源をモビリティと緑のネットワークでつなぎ地域社会のコミュニティ形成を図ります。

■高島平プロムナード基本構想



■グリーンループ



2-3 かわまちづくり事業による水辺空間を活用した複合コンテンツの創出

荒川河川敷の価値を最大限に引き出し、交流人口の増加やにぎわいの創出につながる水辺空間の形成を目指している「かわまちづくり事業」を新たな交流エリアとして活用・発信します。

新施設を会場として、音楽をはじめとする文化芸術やスポーツ競技等のイベントなど、水辺空間を活かした複合コンテンツを創出し、賑わいの創出と新施設の知名度向上を図ります。



目標3 人を惹きつける板橋の魅力を発信する



取組の方向性

地域資源の歴史的背景や生活文化との関りなどを魅力的に伝える「板橋ストーリー」をつくり、既存の広報媒体を活用して発信します。

板橋区の地域資源を分野横断的に、かつ広域的に捉えることで、「板橋ストーリー」の魅力を高めていきます。

2035年目指す姿

板橋区を紹介する「板橋ストーリー」がいくつもあり、ボランティアガイドが案内するガイドツアーは、人気のある体験コンテンツとして評価されています。

「板橋ストーリー」の区民の認知度が高まり、今後も板橋区に住み続けたいと思う区民の割合が高まっています。

3-1 行って知って好きになる板橋ストーリーの制作・発信

これまで紹介してきた地域資源に、歴史的背景、地域コミュニティとの関わり、区民生活との関り、個人の想い等の「板橋ストーリー」を加え、地域情報として発信します。

板橋区シティプロモーション戦略を踏まえ、「板橋区の9つの特徴」を交流・回遊の強みとして活用し、広報・宣伝活動を実施します。



【板橋区の9つの特徴】

文化や歴史が感じられる／自然や公園に癒される／買い物が楽しめる／子育てを積極サポート／学びの環境をバックアップ／楽しく学べる施設が充実／家族の安心を守る／健康な生活を応援／便利で暮らしやすい

3-2 多様化するニーズに対応した効果的な情報媒体の活用

国籍、年齢、障がいなどに関係なく、誰もが地域情報にアクセスでき、板橋区での交流・回遊を安心して楽しめる体制を整備します。

多様化する消費者ニーズに対応した情報発信を行えるように、誘客対象が利用する情報媒体を活用し、テーマに特化した情報発信を行います。



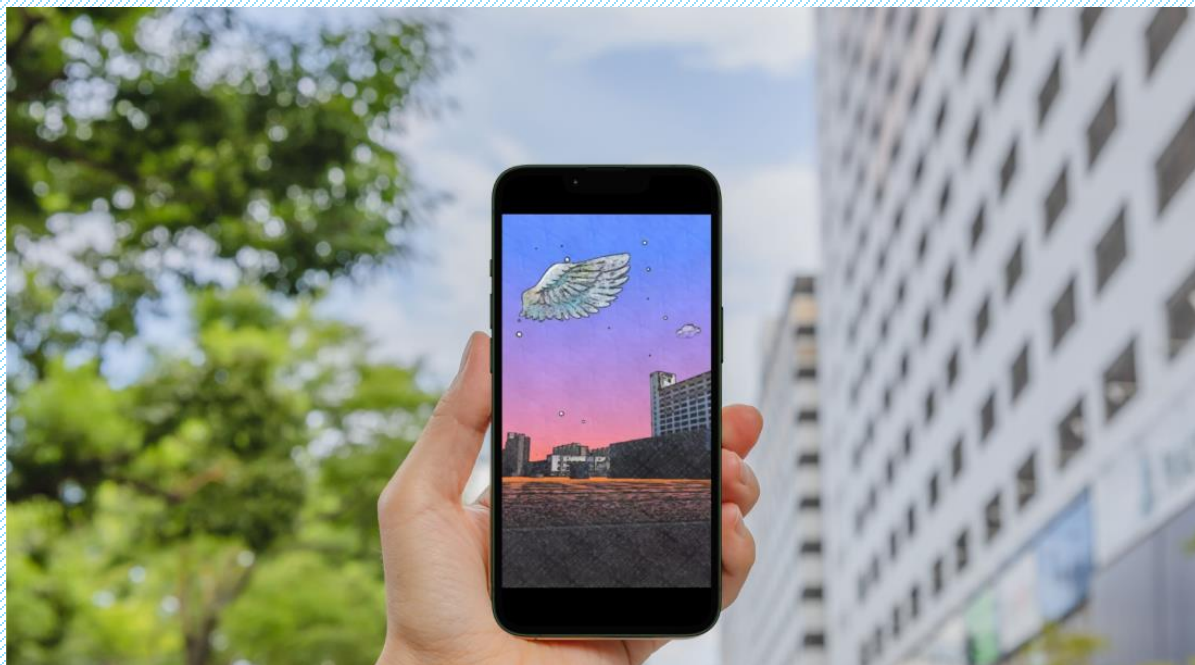
3-3 板橋ならではのイベントや祭りの情報発信強化

いたばし花火大会・板橋区民まつり・板橋農業まつり・板橋Cityマラソンの板橋4大イベントに加え、各地区のまつりや伝統行事などの情報発信を強化していきます。

イベント開催時には、会場周辺の地域情報も併せて発信するなど、多様な魅力を訴求できる取組を行います。これにより区民が地域コミュニティの一員であることを再認識するとともに、区外からの来訪者に深い印象を残し区の魅力を更に高めます。



目標 4 人とデジタルを活用した受入体制の整備により、交流や回遊の促進を図る



取組の方向性

板橋区での滞在において、迷わず、便利で快適に楽しめるよう、交通環境、案内機能、滞在環境などの受入基盤を整備します。

板橋区での体験コンテンツや交流・回遊を支える人材を確保・育成できるように、産学官一体となって受入体制を構築します。

2035年目指す姿

多様化する消費者のニーズに対応できる受入体制が整備され、利便性が高く、満足度が高い地域として、区民及び来訪者から評価されています。

多くの区民及び来訪者を受け入れることで、産学官の取組が活発化し、板橋区の体験・交流・回遊施策を支援・応援するサポーターが増えています。

4-1 板橋の魅力を伝える産学官一体となったサポーター作り

「板橋区大学連携連絡会」及び企業と連携し、体験・交流・回遊事業に携わる人材を確保・育成するための研究を進めます。

板橋区ゆかりの文化人やアーティストと連携する「板橋区観光大使」及び「アーティストバンク」を継続的に実施し、板橋区の魅力を発信します。

観光関連産業における人材不足を解消するため、国・都・区の事業を通じた支援を行います。



4-2 区内回遊を促す地域交通の利便性向上

区内を周遊する交通サービスとして、板橋区コミュニティバス「りんりん号」を活用し、区内交通の利便性向上を図ります。

公共交通を補完する電動小型モビリティ（電動スクーター、電動自転車、電動スケートボード、超小型モビリティ）の導入を検討します。



4-3 デジタルを活用した居心地の良い環境の整備

板橋区観光協会のWebサイトをポータルサイトとして位置づけ、情報収集・発信の体制を強化し、利便性の高いシームレスな情報提供が可能なシステムを構築します。

区外の方も利用できるデジタル地域通貨「いたばしPay」によるキャッシュレスを推進するとともにポイント付与など来訪を誘引する施策の実施を検討します。



目標5 ブランディングをより強化し、 持続可能な地域コミュニティ作りを目指す



取組の方向性

板橋区の魅力やブランド力を向上させる体験・交流・回遊施策を持続可能な取組にするため、事業運営体制（人材、組織、仕組）を強化します。

2035年目指す姿

板橋区への来訪者が増えても、地域の歴史・文化・自然が保全されています。

体験・交流・回遊施策によって板橋区の良好な地域イメージが形成され、誇りに思う区民がさらに増えています。

5－1 地域資源の魅力再認識によるシビックプライド醸成

新たな体験コンテンツや新たに整備される観光関連施設、いたばし観光ボランティア「もてなしたい」によるパネル展示やガイドツアー等を通じて、新しい板橋区の楽しみ方を示し、板橋区の魅力 را 区民に再認識してもらいます。

地域資源の発掘と活用の取組を区民に発信することで、板橋区を誇りに思う「シビックプライド」を醸成し、インフルエンサーとなって主体的に魅力を発信することを目指します。



5－2 地域資源の掛け合わせによる地域ブランドの創出

地域資源を活かした体験・交流・回遊施策を、例えば、①街道文化×商業文化、②河川公園×音楽イベント、③街中華×まち歩き、④絵本のまち×ボローニャ食イベント、というように掛け合わせることで、地域の個性を強め、地域のブランド力を高めます。

同じ地域で複数の取組を掛け合わせることで、地域経済の活性化と歴史・文化・自然の保全を両立させ、地域が持続的に発展していくブランド創出を目指します。



5－3 子育て世帯への魅力発信

「子育て世帯」を主要な誘客対象として設定し、同世代の区民が楽しんでいる子どもの遊び場に関する情報を発信するとともに、全国的に評価されている「子育て支援」の取組も広く発信します。

「子育て世帯」の視点で絵本のまちや多くの公園など板橋区の魅力 را 発信することで、板橋区のライフスタイルに共感する来訪者を増やし、地域ブランドの価値を高めていきます。

